

日本語用論学会第2回(1999年度)大会プログラム

場所: 立命館大学国際平和ミュージアム

住所: 京都市北区等持院北町 56-1 電話: (075)465-8151

日時: 1999年12月4日(土) 受付 10:30 ~ (ラウンジ)

総会 (12:00 ~12:20) (ホール)

司会 高司正夫 (宮崎公立大学)

1. 開会の辞 児玉徳美 (立命館大学)
2. 会長挨拶 小泉 保 (関西外国語大学)
3. 事務局報告
4. 編集委員会報告
5. 会計報告
6. その他

研究発表 (12:30 ~ 15:35)

A室 (ホール)

司会 久保 進 (松山大学)

1. 「日本語母語話者と中国人日本語学習者の『断り』に関する一考察」 邱 理華 (九州大学大学院)
2. 「話法の伝達動詞と引用部の関係 -語用論的アプローチ」 岡本芳和 (関西外国語大学大学院)
(休憩) (10分)
司会 高原 脩 (神戸市外国語大学)
3. 「関係修復の言語行動に見られるストラテジー」 三木麻由美 (同志社女子大学大学院)
4. 「Please の意味に関する一考察」 春木茂宏 (大阪大学大学院)
5. 「言語行為法助動詞の語用論と意味論」 澤田治美 (関西外国語大学)

B室 (209室)

司会 杉本孝司 (大阪外国語大学)

1. 「談話の認知的側面からみた二重目的 語構文と与格構文」 松本知子 (同志社女子大学大学院)
2. 「英語における譲歩表現の一考察 -though の機能を中心として」 西岡武彦 (神戸市外国語大学大学院)

(休憩) (10分)

司会 金水 敏 (大阪大学)

3. 「If 節における過去形の意味」 野村忠央 (青山学院大学大学院)
4. 「分詞構文について」 井門 亮 (明治学院大学 非常勤講師)
5. 「日本語地図課題対話における『はい』の分類」 榎本美香・(千葉大学大学院・ 土屋 俊 千葉大学)

書籍展示 (206室) (10:30 ~18:00)

シンポジウム(15:45 ~ 18:20) (ホール)

<語用論のダイナミズムー21世紀への知の探求>

司会 山梨正明 (京都大学)

1. 「言語行為論の終焉から語用論の将来へ」 土屋 俊 (千葉大学)
2. 「異文化間コミュニケーション研究の解釈的アプローチ」 井上逸兵 (信州大学)
3. 「動的な言語観と一語発話の言語運用」 飯田 仁 (ソニー・コンピュータサイエンス研究所)

閉会の辞 小泉保 (関西外国語大学)

懇親会 (18:30 ~) (209室) (会費 3,000円)

会場案内: 立命館大学国際平和ミュージアム

(会場は大学のキャンパスの中ではありません。)

1. JR、近鉄 京都駅より

・市バス 52 番にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分、特 205、50 番にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分。
・地下鉄にて北大路駅下車。地下鉄北大路駅より、市バス、204、205 番にてわら天神前」下車、徒歩 10 分、特 205、特 202 番にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分。

2. 阪急電車 西院駅より

市バス 205 番にて「衣笠校前」または、「わら天神前」

下車、徒歩 10 分、特 205、特 202 番にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分。

3. 阪急電車 大宮駅より

市バス 5 5 番にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分。

4. 京阪電車三条駅より

市バス 15, 51, 特 51, 59 番にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分。